

かめのり賞活動報告書

1. かめのり賞受賞会：第18回かめのり特別賞

2. 団体名：特定非営利活動法人 あおぞら

3. 活動目的

カンボジアやラオスを中心に、母子保健や新生児ケアに携わる医療者の育成、地域の衛生環境改善を通して、「すべての命が大切にされ、安心して暮らせる社会」を実現することを目的として活動しています。

4. 活動報告

① 活動奨励金の活用方法

活動奨励金は、あおぞらが継続して実施している母子保健事業の中で必要な部分を補完する目的で活用しました。新生児蘇生法研修や助産師研修の実施に際し、教材準備や移動・調整費などの一部を支える形で寄与し、現地医療者が学びやすい環境づくりを後押ししました。

② かめのり賞受賞後の事業活動の内容・功績

【カンボジア】

コンポンチュナン州病院では、小児科医1名・産科医2名に対しインストラクター向け研修を実施し、新生児蘇生法および指導技術の基礎について、定着が見られました。

また、産科助産師6名への研修では、人工呼吸の手技や心拍確認の基本について、理解の定着が見られました。

これらの研修は従来から続けている取り組みであり、活動奨励金は、その一部の実施を補完する形で役立てられています。

コンポンレーン郡で予定している助産師研修は、現地側の希望を踏まえ、2026年の実施に向けて準備を進めています。

【ラオス】

トゥラコム郡病院では 14 名を対象に新生児蘇生研修を実施しました。以前に研修を受けた小児科医や助産師が主体的に現地語で実技指導を行い、地域内で教える体制が育っています。

また、郡病院および管轄する 5 つのヘルスセンターの医師・看護師・助産師 14 名に対し、産前・分娩期のケアに関する講義とシミュレーションを実施し、理解の定着が見られました。

これら活動においても、奨励金は事業全体の一部を支える補完的な役割を果たしました。

【カンボジア・井戸水調査（環境改善支援）】

スヴァイルンピアヘルスセンターにおいて井戸水の変色・沈殿の原因調査を行い、鉄濃度の高さが主因であることが確認されました。地域住民やヘルスセンター職員の協力により調査は円滑に進み、信頼関係のさらなる深化につながりました。

③ 現在（または今後）計画している事業

カンボジアでは、2026 年に予定している助産師研修を、インストラクター研修を受けた 3 名が中心となり実施できるよう体制整備を進めています。事業終了後も州保健局や州病院が継続して研修を行える仕組みづくりを目指しています。

さらに、スヴァイルンピアヘルスセンターで発生している井戸水の鉄分による変色問題に対し、衛生環境改善の一環として鉄分除去装置の設置を計画しています。装置はカンボジア国内で調達可能な製品を選定し、維持管理やアフターフォローが可能な現地業者を採用する方針です。職員が扱いやすい設計であるため、稼働後の持続性も高いと見込まれています。

この取り組みにより、安全な水の提供を通じて地域住民の保健衛生向上に寄与できるとともに、ヘルスセンターの信頼向上にもつながることが期待されます。鉄分問題は世界的にもみられる地下水利用の共通課題であり、現地リソースを活用した実行可能な改善モデルを示すことができれば、他地域や周辺国への展開につながる可能性があります。

ラオスでは、新生児ケア研修の継続と、現地医療者が自ら指導できる体制の強化を進め、母子保健の向上につながる活動を広げていく予定です。

・ラオスにて新生児蘇生法講習



・カンボジアにて作業療法、リハビリテーション支援



・カンボジアにて水衛生改善支援

